

〔續日本後紀三明〕承和元年八月辛巳，上明仁爲先太上天皇，明及太皇太后，明置酒於冷然院，上自奉玉卮，伶官奏樂，令源氏兒童舞于殿上，極歡而罷，以綿一萬屯，賜五位已上并院司祿各有差，太上天皇及太皇太后，將遷御嵯峨新院，故有此讌設也。

〔日本紀略一醜〕寛平九年八月九日壬子，夜太上天皇，宇并皇太后，子遷御於東三條院，桑又見扶書。

〔帝王編年記二龜山六〕文永八年二月廿三日，新院深御幸北山殿，暫可爲御所云々。

〔續日本紀二淳仁二〕天平寶字四年正月丁卯，是日高野天皇，孝及帝幸大師，仲藤原麻呂第，授正六位上巨

勢朝臣廣足從五位下，從三位藤原朝臣袁比良正三位，從五位上池上女王正五位上，從五位上賀茂朝臣小鮒飯高公笠目，並正五位下，賜陪從五位已上錢。

〔續日本紀二淳仁三〕天平寶字五年八月甲子，高野天皇及帝幸藥師寺，中還幸授刀督從四位上藤原朝臣御楯第宴飲，授御楯正四位上，其室從四位下藤原惠美朝臣兒從正四位下。

〔續日本後紀三仁明〕承和元年四月辛丑，先太上天皇，明降臨右大臣清原真人夏野雙岡山莊，愛賞水木，大臣奉獻懇懃，用展情禮，是日勅增授大臣男息三人榮爵，從五位下瀧雄從四位下，六位澤雄，秋雄並從五位下。

〔天鏡五太政大臣伊尹〕花山院は、風流者にこそおはしましけれ、中入道殿、藤原のくらべ馬せさせ給し日は、むかへ申させ給けるに、わたりおはします日の御よそほひはさらなり、おろかなるべきにもあらねど、それにつけてもまことに御車のさまこそ、又よにたぐひなくさふらひしか、

御くつにいたるまで、たゞ人の見ものになる計こそ、のちにはもてあるくとうけ給りしか、

〔日本紀略九一覽〕永延二年十月廿七日庚辰，圓融寺太上天皇爲廻心欲登山，路幸攝政，藤原二條京極新造築於同馬場殿，有走馬事。

臣下家御幸